

一般社団法人全国専門学校情報教育協会(研修委員会)
令和3年度 研修ニーズアンケート
教員・職員

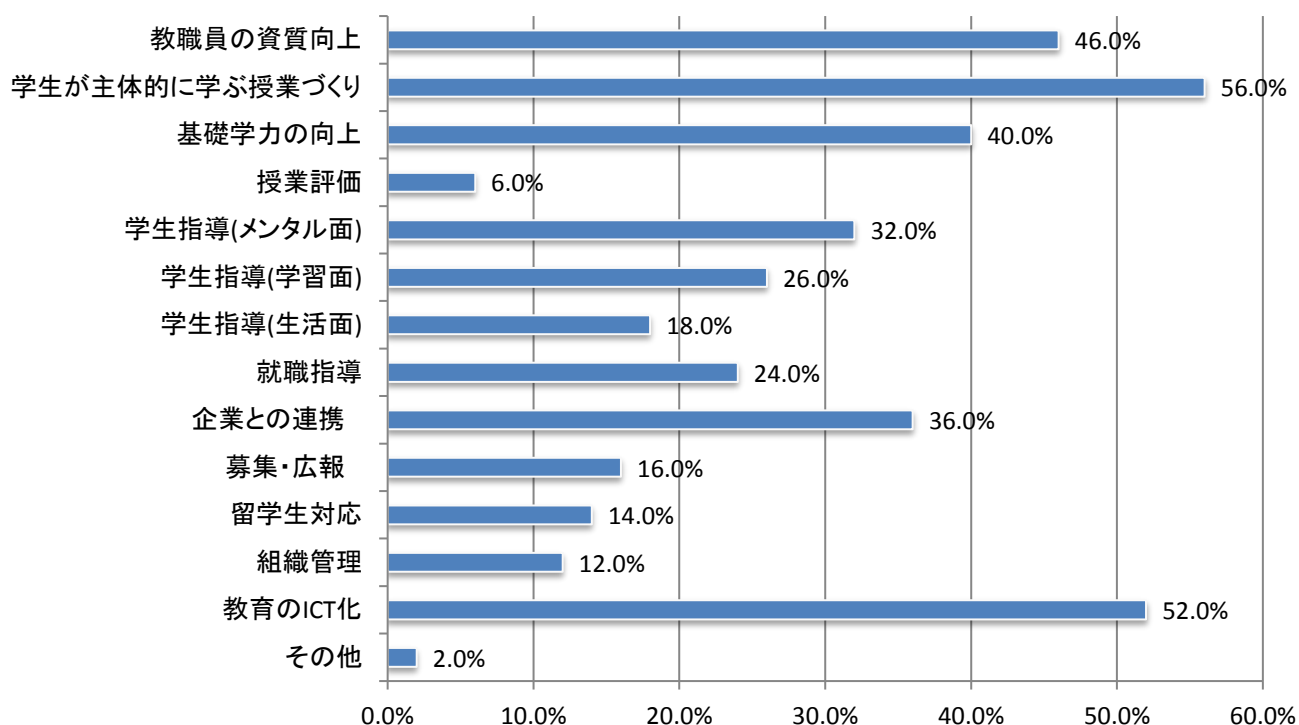
- 調査時期
令和3年4月21日～令和3年5月14日
- 発送数 70 件(校)
- 回答数 50 件
- 協力校数 24 校
- 回答率 34.3 %

令和3年度 研修ニーズアンケート【教員・職員】

担当されている業務の課題として緊急性の高いと感じているものに○を付けてください。

S.no	項目	回答	%
1	教職員の資質向上	23	46.0%
2	学生が主体的に学ぶ授業づくり	28	56.0%
3	基礎学力の向上	20	40.0%
4	授業評価	3	6.0%
5	学生指導(メンタル面)	16	32.0%
6	学生指導(学習面)	13	26.0%
7	学生指導(生活面)	9	18.0%
8	就職指導	12	24.0%
9	企業との連携	18	36.0%
10	募集・広報	8	16.0%
11	留学生対応	7	14.0%
12	組織管理	6	12.0%
13	教育のICT化	26	52.0%
14	その他	1	2.0%
	合計	190	-

※%の母数は回答者数(=50)、複数回答



【その他の回答】

・留学生の就職支援、指導者のビザに関する正しい知識の習得

問題や課題を解決するために、どのような研修・セミナーがあったら良いと思いますか？

区分	研修テーマ	内容(概略で結構です)	形式	対象	日数	実施時期
教職員の 資質向上	アクティブ・ ラーニング	導入事例	講義	教員	1日(5時間 ~8時間程 度)	
教職員の 資質向上	指導力向上	学生を引き込む話力向上	セミナー	教員	半日(1時 間~4時間 程度)	7月、8月、 12月
教職員の 資質向上	教員の教育力向 上について	個々の教職員の資質向上	講義	教員, 職員, 管理職, 経 営者	1日(5時間 ~8時間程 度)	
教職員の 資質向上	チームビルディ ング	複数人のチーム(学生を想定)を上手 く作り上げるためのノウハウなど	セミナー	教員	半日(1時 間~4時間 程度)	
教職員の 資質向上 授業評価	遠隔授業におけ る3DCG実習教 育	オンラインでの3DCG実習授業を行う 上で必要なシステムや課題、評価方法 等	セミナー	教員, 職員, 管理職	半日(1時 間~4時間 程度)	7月末~8月 末
教職員の 資質向上	教育機関の視察	先進的な教育を行っている大学・専門 学校等の視察	セミナー	教員, 職員, 管理職, 経 営者	半日(1時 間~4時間 程度)	
教職員の 資質向上	A I 関連		実習	教員	半日(1時 間~4時間 程度)	
教職員の 資質向上	オンライン授業の メリット デメリット 対面授業のメリッ ト デメリット 運用 方法の違い	オンライン授業の実施事例。やりやすい授 業内容 オンライン授業の精度を上げるには 対面授業でしかできない授業内容とは オンライン授業の今後の可能性 教室というハードにとらわれない、授業内 容 オンラインでの学生との双方向のやりとり のハウツー	事例紹介、 デモンスト レーション、 グループ 検討など	教員	2日間	
教職員の 資質向上	非IT系の教員で もできる遠隔授 業の方法	非IT系の教員向けの、オンライン授 業、遠隔授業、インターネットを使った 授業のノウハウ	オンライン	非IT系の教 員、技術指 導をする教 員	1日(5時間 ~8時間程 度)	長期休暇 時、夏休み 冬休み 春 休みなど
教職員の 資質向上	アダプティブ ラーニングの実 践	アダプティブラーニングを学校の制度 も含めて、どのように実施、運営して いけば良いかを考え方や実践例を紹 介してもらいたい。	セミナー	教員, 管理 職	半日(1時 間~4時間 程度)	
教職員の 資質向上	情報セキュリ ティ研修	情報セキュリティに関する基礎から応 用まで、実習を交えての研修	実習	教員	1日(5時間 ~8時間程 度)	

区分	研修テーマ	内容(概略で結構です)	形式	対象	日数	実施時期
教職員の 資質向上	IoT活用	各種IoT機器（特にセンサ技術）活用について基礎から応用までを実習を交えての研修	実習	教員	1日（5時間～8時間程度）	
学生指導	モチベーション管理	学生のモチベーションを高く保つ方法	セミナー	教員, 管理職	半日（1時間～4時間程度）	夏季
学生指導	学生の力になる授業のやり方	講師が授業を正しいやり方で進めるとちゃんとその授業の内容が学生の身に着く	セミナー	教員	半日（1時間～4時間程度）	2月、3月
学生指導	学生が主体的に学ぶ授業づくり	学生が主体的に学ぶ授業づくり	セミナー	教員	1日（5時間～8時間程度）	8月・12月
学生指導	学生の自主性を向上させる方法	<p>詳しく目の事例紹介（成功例・失敗例）を数多く発表してもらい、参加者による検討を行う。</p> <p>成功事例を扱うことが多くなるが、失敗事例も交えてもらいたい。</p> <p>同じやり方でも年度・クラスによって成功したり失敗したりすることがあると思うので、そういった点も含まれているとよりありがたい。</p> <p>失敗事例に対して、参加者による検討分析をすることで成功率を上げる、状況により手法を変えるなどが可能になると考える。</p>	セミナー	教員, 管理職	半日（1時間～4時間程度）	
学生指導	学生を主体的に学ばせる授業方法について	学生参加型の授業展開方法について、様々な事例をご紹介します	講義	教員	2日間	7月下旬～8月下旬
学生指導	多様性対応	学習障害、LGBTなどへの対応	セミナー	教員, 職員, 管理職	半日（1時間～4時間程度）	夏季
学生指導	学生指導と管理	社会での活躍を見据えた学習とモチベーションの持たせ方	セミナー	教員	半日（1時間～4時間程度）	8月
学生指導	就活能力の低い学生への指導方法	希望の仕事を見つけられない・エントリーシートなどの書類が書けない・基本的な面接力が欠けている学生への指導方法	事例紹介	教員	半日（1時間～4時間程度）	時期はいつでもいい。
学生指導	学生指導（主にメンタル面）	叱られ慣れていない学生が多い中、社会に出ても生き残れるような強いメンタルを養うための指導方法	「成功事例のレクチャー」を講義やセミナー形式で	教員, 職員, 管理職	半日（1時間～4時間程度）	8月、1月、3月の長期休みの期間

区分	研修テーマ	内容(概略で結構です)	形式	対象	日数	実施時期
学生指導	学生へのメンタルトレーニング		講義	教員, 職員	1日(5時間~8時間程度)	
学生指導	福祉、医療戸の連携の必要性 多様な学生の受け入れ 障害を持つ学生のケア	発達障害をはじめ、多様な学生が入学してくる中、地域の福祉や医療関係者と連携をはかり必要があるのではないか。 カウンセラーの導入学生、保護者の自己理解 卒業後の就労アドバイスなど		教員	2日間	
学生指導	学生が主体的に学ぶ環境づくり	様々な事例を集め、情報交換をする	セミナー	教員	1日(5時間~8時間程度)	8月
学生指導	学生対応(メンタル面)、人権について	特性(ADHD、LDなど)のある学生に対するサポート方法、職員間、または職員と学生との人権に関して	講義	教員, 職員, 管理職	半日を数回	年に数回、または同じ内容を数回繰り返し、常に学べる体制をとる
学生指導	学生指導研修	様々な状況の学生が入学してくる中、その対応などを事例を交えてのセミナー	セミナー	教員	1日(5時間~8時間程度)	
授業評価	授業評価について	方法論と作成の仕方	セミナー	教員	半日(1時間~4時間程度)	7月~8月 夏季休暇期間
授業評価	授業評価	事例紹介	セミナー	教員	1日(5時間~8時間程度)	
就職指導	専門学校生における就職支援の在り方	専門学校卒業生の求人情報をどのように獲得していくか。特に留学生の求人開拓について。	セミナー	教員, 職員, 管理職, 経営者	半日(1時間~4時間程度)	8月
企業との連携	企業連携実習を行うための、企業とのパイプ作りができるような研修	企業連携実習を行うための、企業とのパイプ作りができるような研修	ディスカッション	教員	半日(1時間~4時間程度)	2月~3月
学生募集・広報	分析力の強化	マーケティングなど分析力を強化するための考え方などを身に着ける	講義	教員	1日(5時間~8時間程度)	8月、1月、4月
学生募集・広報	SNSなどを使った広報活動の方法	他校の事例などを紹介 入学対象者との接点を取る方法 SNSなどでの広報活動のノウハウ	オンライン	教員, 職員	1日(5時間~8時間程度)	長期休暇時 夏休み 冬休み 春休みなど

区分	研修テーマ	内容(概略で結構です)	形式	対象	日数	実施時期
学生募集・広報	学校ブランディングの作り方	各学校の特色が問われる中、上手く学校の特色を活かしSNSやオウンドメディアを活用し、学校のイメージングを成功させている事例を知る。	事例紹介、デザイナーの講義	教員, 広報担当	2日間	
留学生対応	コロナ過以降の外国人留学生向け就職指導方法	インバウンド需要もなく、日本人求人も競合する中で外国人留学生が就職できる方法、求人の収集法など人材派遣会社さんなどの話を聞き各学校で対策できる内容	セミナー	教員, 職員, 管理職	半日(1時間~4時間程度)	8月
留学生対応	留学生が日本国で就労するために取得できるビザの種類とその特徴	①特定技能ビザ、技術・人文知識・国際業務ビザの違い、②それぞれのビザを取得するための条件と各教育機関が留学生に指導すべき事項	留学生のビザに詳しい行政書士、実際に指導経験がある教育機関の指導者を交えたパネルディスカッション	教員, 職員, 管理職, 経営者, 留学生担当者, 就職センター職員など	1日(5時間~8時間程度)	3月、4月、年度初めに
教育のICT化	ICTを活用した教育方法	e-Learnigの活用法や講義動画の作り方など、ICTを使って学生たちがオンラインで授業時間外にも自発的に勉強するためのコンテンツ作りに関する研修	実習	教員	2日間	8月or12月(長期休暇中)
教育のICT化	ネットワークの構築運用、及びセキュリティ	ベンダー企業を招いて最新の情報提供や定期的に環境を整えることの重要性をレクチャー		管理職	3日間	
教育のICT化	クラウド関連	プライベートクラウドのOpenStackに関する研修	実習	IT系インフラ関連技術を担当している教員	3日間	7月下旬から8月上旬
教育のICT化	AIの活用	AIをビジネスの場でそのように活用しているのか	セミナー	教員	1日(5時間~8時間程度)	8月(夏季休業期間)
教育のICT化	ICT活用のメリットとデメリット		セミナー	管理職, 経営者	半日(1時間~4時間程度)	
教育のICT化	教育のICT化手法	・授業のICT化の手法 ・学生情報の一元管理(学生個人情報、出席記録、面談記録、進路活動記録、その他) ・上記に伴うセキュリティやICTリテラシー	講義	教員, 職員	1日(5時間~8時間程度)	できるだけ早い時期に

区分	研修テーマ	内容(概略で結構です)	形式	対象	日数	実施時期
教育のICT化	教育機関のビッグデータ活用	教育機関の課題をビッグデータに基づいて解決していく流れを学習する	実習	教員, 管理職	1日 (5時間~8時間程度)	夏季休業期間
教育のICT化	効果的なオンライン授業	オンライン授業は、出来ているものももっと効果的かつ効率的な手法やツールは無いかと探しています。	講義	教員, 管理職	1日 (5時間~8時間程度)	
教育のICT化	ICTを利用した教材作り	IT系学科以外の学科の講義用教材作り	実習	教員	1日 (5時間~8時間程度)	2月中旬
教育のICT化	zoom等を活用したライブ授業における授業進行セミナー及びその後の出席管理等データ管理活用方法セミナー	学生の学習理解を促進させるための効果的なライブ授業の活用方法をレクチャー。ライブならではのメリット、デメリットを紹介。またその後回収できる出席データや授業映像データをどのように管理活用していくかも含めレクチャー。	実習	教員, 職員	2日間	
教育のICT化	クラウド活用	クラウド活用方法、各種APIの活用方法など基礎から応用まで	セミナー	教員	1日 (5時間~8時間程度)	長期休暇時期 (夏休み、冬休み)

対面・研修会場で実施する研修会について、以下設問にお答えください。

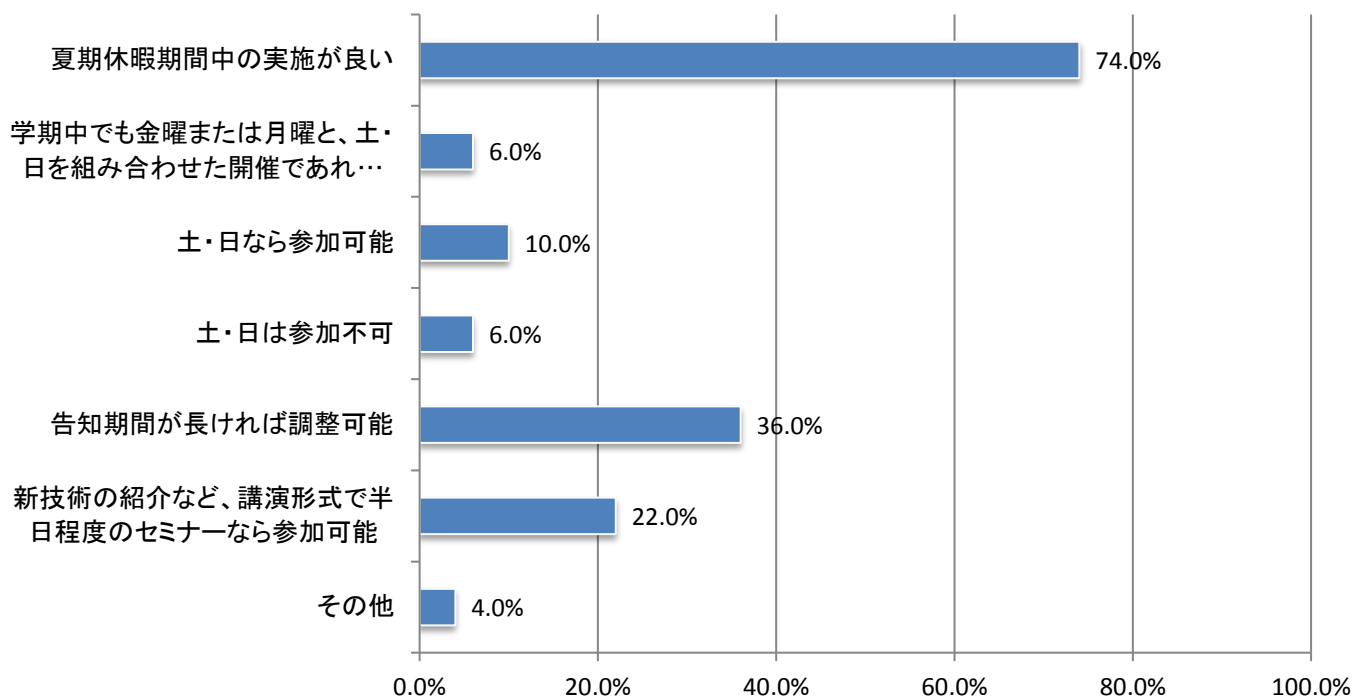
パソコン等を用いた演習や、グループディスカッションを伴う研修は、2～3日を要するものが多くなります。実施時期・日数などについて当てはまるもの全てに○を付け、ご意見等をお書き添えください。

・研修時期について

No	項目	回答	%
1	夏期休暇期間中の実施が良い	37	74.0%
2	学期中でも金曜または月曜と、土・日を組み合わせた開催であれば可	3	6.0%
3	土・日なら参加可能	5	10.0%
4	土・日は参加不可	3	6.0%
5	告知期間が長ければ調整可能	18	36.0%
6	新技術の紹介など、講演形式で半日程度のセミナーなら参加可能	11	22.0%
7	その他	2	4.0%
合計		79	-

※%の母数は回答者数(=50)、複数回答

研修時期について



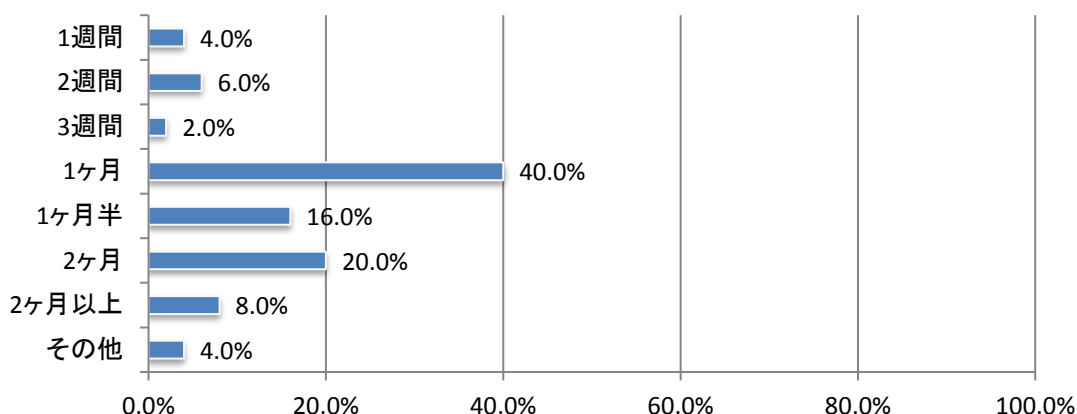
◆その他

2月中旬

・研修の告知期間について

No	項目	回答	%
1	1週間	2	4.0%
2	2週間	3	6.0%
3	3週間	1	2.0%
4	1ヶ月	20	40.0%
5	1ヶ月半	8	16.0%
6	2ヶ月	10	20.0%
7	2ヶ月以上	4	8.0%
7	その他	2	4.0%
合計		50	-

研修の告知期間について



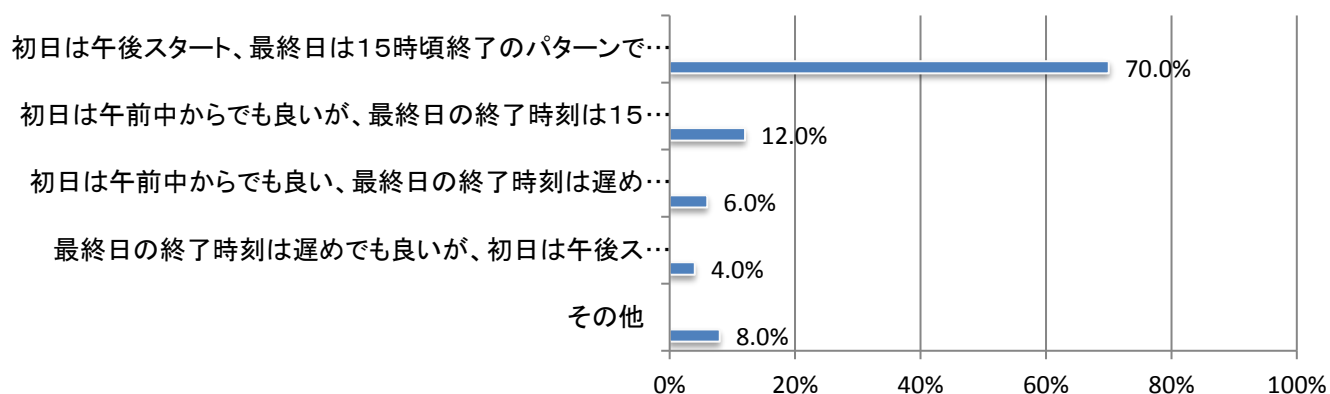
◆その他

年度初め開始直前(3月下旬)が計画しやすい為

日程について

S.No	項目	回答	%
1	初日は午後スタート、最終日は15時頃終了のパターンでよい	35	70.0%
2	初日は午前中からでも良いが、最終日の終了時刻は15時頃終了が	6	12.0%
3	初日は午前中からでも良い、最終日の終了時刻は遅めでも良い	3	6.0%
4	最終日の終了時刻は遅めでも良いが、初日は午後スタートが良い	2	4.0%
5	その他	4	8.0%
合計		50	100.0%

日程について



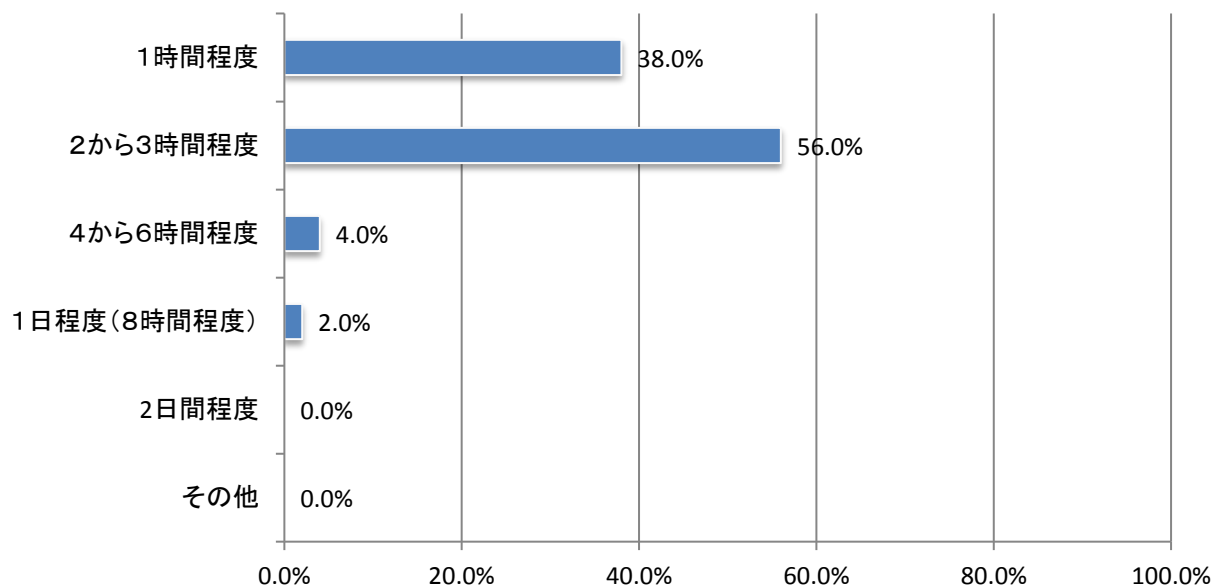
◆その他

東京の場合は参加できないが、オンラインなら参加可能

オンラインの研修会について

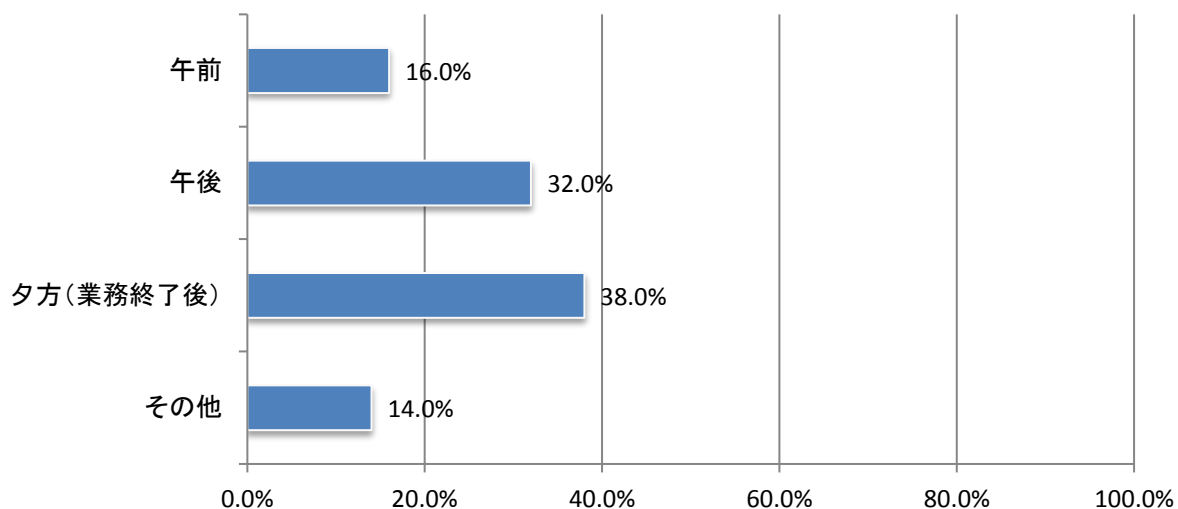
・オンライン研修会の時間は、1回あたりどの程度の時間が良いと思いますか

No	項目	回答	%
1	1時間程度	19	38.0%
2	2から3時間程度	28	56.0%
3	4から6時間程度	2	4.0%
4	1日程度(8時間程度)	1	2.0%
5	2日間程度	0	0.0%
6	その他	0	0.0%
合計		50	100.0%



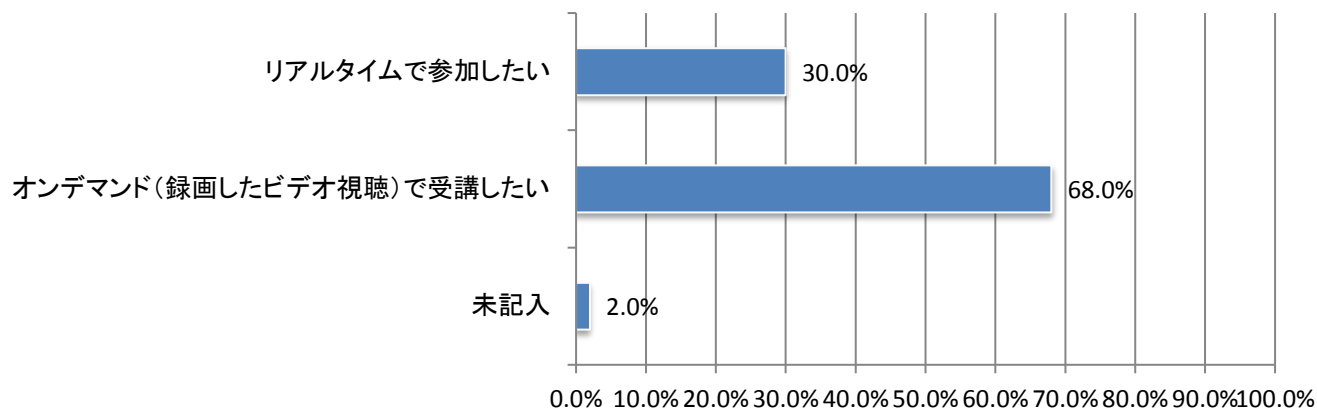
・リアルタイムでオンライン研修に参加する場合、受講に都合のよい時間はありますか

No	項目	回答	%
1	午前	8	16.0%
2	午後	16	32.0%
3	夕方(業務終了後)	19	38.0%
4	その他	7	14.0%
合計		50	100.0%



・オンライン研修会の受講形態

No	項目	回答	%
1	リアルタイムで参加したい	15	30.0%
2	オンデマンド(録画したビデオ視聴)で受講したい	34	68.0%
3	未記入	1	2.0%
合計		50	100.0%



理由

・リアルタイムで参加したい

- オンデマンドだといつでも見れると思いやらない
- 臨場感がある
- 質疑応答がその場で可能になるので
- リアルタイムの方がその日時に参加する意識を保ちやすい

・オンデマンド(録画したビデオ視聴)で受講したい

- 視聴時間を自由に選べるため
- スケジュール調整が必要ないので
- リアルタイムでは、参加する為の調整が必要の為
- 時間の融通が利くため
- 時間に縛られず、都合の良い時間に視聴したいため
- 時間の融通が利くため
- 授業があるため調整が難しい
- リアルタイムの場合、急用のため参加できない状況も考えられるので
- 授業があり、指定された時間のリアルタイム参加が難しいため
- リアルタイムで参加申し込みをしても平日は突発的な学生対応で受講できないことがしばしばあるため。
- 企業側の情報を知ったうえで質問などしたいので、まずはオンデマンドでもよい
- 質疑応答やディスカッションがないのであれば、動画で十分だから
- 必要な部分を繰り返し見ることができるため
- 自宅でも受講できた方がよいから

コロナ禍における休校や遠隔授業への対応について、現在困っていることや、抱えている問題・課題等がございましたらお書きください。

学生のPC環境、ネットワーク環境が不十分。ネットワーク利用料金が発生する。

遠隔授業と対面授業の準備や管理が各教員のマンパワーに頼ることが多く個人負担が大きい

遠隔授業における個々人の細やかなサポートを行う方法

チームスの操作

遠隔授業なら対面授業みたいに授業中のコミュニケーションが取りにくい

実習作業の管理と指導。

学生全員がパソコンを持っていないこと

留学生の自宅にネット回線がなく、また、PCを持っていない学生が多い

現在は幸いにも対面授業で授業を行っているが、いざ休校となった場合に、オンライン授業の準備が間に合うか不安を感じる

学習者全員のWifi環境が整っていないこと

- ・技術実習系の授業の遠隔での限界
- ・学生とのコミュニケーションの不足

実習科目の遠隔授業での手法

学生のネット環境が様々で一様でない事。

学校内での環境は都度整っていると思うが、各学生の家庭環境に差がある。ネット環境や、そもそも学ぶスペースなどの問題。長い時間の集中は難しいと考える。

遠隔授業を行っていないため、やらざるを得ない状況になったとき実施が困難

コロナを気にして学校に来ない(来れない)学生への対応

遠隔授業における教員のスキルや環境、休校が続いた場合のクレーム

学生側のインターネット環境の整備が不十分な点が課題です

遠隔授業ならではの特色的なIT手法を以って、学生を退屈させない授業としたい

職員のICT活用能力に差があり、負担が偏ってしまう。

学生の自宅でのWifi環境など、家計の状態により異なってしまう点。

新型コロナウイルス感染拡大地域ではないため特になし

遠隔授業時に学生側のネット環境により動画が見づらいことがある。

学校の回線が弱いので、環境を整えないといけない。また、学生個々でPC環境が違う。

また、教育間でも、リテラシーの違いがある。オンラインの際、教員の出勤 学生の出席をどうつけるか。

デザインで実習が必要な場合、オンラインでは対応に限りがある。立体造形、ファッションデザインなど特殊な機材がないとできない授業もある。

ただ、オンライン授業が確立すれば、校舎や教室というハードにとらわれず、各自が遠方でも自宅で学習できるメリットもある。引きこもりでも学ぶことができるというメリットもある。また、この社会状況の中 学校、校舎、教室というハードがなぜ必要なのか、オンライン授業で失うものはなにか自覚的でなければならぬかと感じる

・zoomを活用した遠隔授業の出席管理をデジタル上でいかに効率よく行えるかが課題。

(対面、zoom、両者に通じる出席管理システムの構築をどのように行えば良いのか)

(学生個人個人の出席率を効率よく表示してくれるシステム構築)

・特にandroid端末において、スムーズにzoomやgmailにアクセスできないケースがある。

これに対する解決策を知りたい。

・システム対応が必要になった際、どのような人材が何名必要か、どう運営しているのか、各校の事例を知りたい。

オンラインならではの授業の工夫について

特別な実習を行う場合、現時点ではリモートはできていない。その対応を検討中。

家庭のWi-Fi環境がまちまちなこと。

GIGAスクール構想の前倒し、遠隔教育等 コロナ禍において急速に進む小・中・高等学校での教育のICT化に伴う専門学校としての今後の対応について、現在の取組状況、抱えている問題や課題等をお書きください。

全館WiFiの整備、教員のオンライン授業実施など進めていますが、管理者クラスの教員が消極的なため全体のスピードが遅い

WiFiが遅い

特にありません。

問題点としては、学生が自宅でパソコンを使用出来ないと、学習の制限を受ける状況になっている点

ICTを活用した高度な教育が求められている

タブレットによる学習やグループワークを実施したいが、現在、タブレット機器などの設備が整っていない

①指導する全教員が機器を使いこなせない、事前の研修が必要、②長時間の指導は学習者の集中力が継続しない

・教員・職員のICTスキル不足

小中高での学習内容を踏まえた専門学校としてのカリキュラム作成など

特に無し

どのくらいのレベルで入学してくるのか？が心配。

高校までのICT化がどの程度進んでいるのか把握できていないこと

遠隔授業用の資料作成に手間がかかりかかる。

使用する設備を個人の持ち出しで購入している

実際にどういった教育をしているのか、そして「GIGAスクール構想の前倒し、遠隔教育等」によってどのような授業形態が「常識化」しているのか、中等教育までの「常識」を共有したい。

環境整備、教育の質の向上

学生のPC保有率・ネットワーク環境の不備

実習系の遠隔授業

IT系の学科を設置している専門学校として、高校との連携を検討している

教育環境は段階的に整備しつつあるので、教員のITスキル向上を進めたい

小・中・高のICT化がどのレベルまで進むのか、未だ見えてこない点に不安はある。

ICT化が各校で均一に進まない場合に、入学してくる学生のレベルに差が生じてしまう事。

電子テキストを取り入れるなどICT化に馴染むように取り組んでいる

教育のICT化 現在の社会状況においては必然だと思う一方、実際なにを教えるのか 海外の教育と比べ立ち後れている部分は何かを考える必要があると感じる。ハードを整えることで、可能になることが多々あると思いますが、ハードのみ整えても、そこにのせるコンテンツが未成熟だとあまり有効ではないのではないかと思う。

今後は、GIGAスクール構想を通過して入学してくる生徒が中心になる。専門学校としても環境整備が必要かと思う。

GIIGAスクールなどで遠隔授業などに慣れている生徒などへの対応

オンラインによる双方向授業の方法

実習事業のオンラインの導入方法

・zoomや電子黒板を導入したがまだ発展途上の為質向上を引き続き図っていきたいが、個人の力では限界があるため、専門人材や企業との連携、

GIGAスクール構想に対応すべく学内人事の再考案が必要ではないかと考える。

GIGAスクール構想において、何ができ、何ができないかを明確化させ、

目指すべき構想の中で現実的に実現可能な構想から順に取り組んでいく必要がある。

また目指すべき方向が分からなければ使い様が見つからない為、まず各学校理想とするGIGAスクール構想にむけ目標や達成値等を決めなければならないかと考える。

・小、中、高で行われる教育のICT化とは具体的にどのような事項を指すのか、どこまでICTを活用できているのか、専門学校にはどのレベルのICT化が求められているのかを知る必要がある。

専門学校の効果的な関わり方

特にありません。

オンラインでも学習内容を確保したい。実習の場合、とくに難しい。ただしオンラインだからこそ、首都圏の専門家の講義が聞けるとありがたいです。

職業実践専門課程の設置・運営について、現在困っていることや、抱えている問題・課題等がございましたらお書きください。

経験のある教員が少なく、手順やルールなど期日内に理解できない

建築系なので、国土交通省の認定があり、シラバスを動かせない。そのことにより、教育課程編成委員会もマンネリ化して、毎年2回開催する必要性が無くなってきているような状態となっている。

企業連携実習が対面ではなく、遠隔での実施傾向が強まり、学生の理解度が遠隔での対面と同等かが不安である

実地に行って調査や研究ができない

教育課程編成委員会を年に2回実施しているが、突き詰めるべき課題がそれほど多くないため、必要性を感じない(いつも同じ内容になってしまう)

継続的に指導して下さる企業を探すのが困難

学生の連携実習授業の時間数の確保

特に無し

企業連携実習について、受けていただく企業が少ない(コロナの影響で在宅ワークが主体になった関係で今まで受けていただいた企業から、企業連携を断られた事があった)

特にありません

特になし

企業との連携

委員会への参加をお願いする事

特になし

職業実践専門課程においては、企業連携した際の、書類のやりとりが煩雑。これは学内整備の範疇かと思うが、同じ内容を含む書類が年々追加され、企業にも負担なのではないかと思う。また複数の企業と同時に連携をしていると、どこまで書類をやりとりしたかわからなくなることがある。

学生の能力に応じたインターンシップ先の確保が難しい

コロナの影響を考えた実施方法

企業講師の増員に苦慮している

前述の他に、現在困っていることや、抱えている問題・課題等がございましたらお書きください。(どんな些細なことでも結構です。)

外国人留学生が減少する今後は教職員として何をすべきか

授業のやり方改善のため、他の教員の方々の授業の見学ができるプラットフォームがあったらいいなと思います。授業をしている様子の動画でも助かります。

職業実践専門課程は、省庁の認定を受けていない学科に限定してもいいのかもしれない。

連携企業が学生へ指導する内容の陳腐化。自社新入社員に行っている古き時代の内容を学生への教育にも用いている。しかし、なかなか引き受けてくれる企業がないので仕方ない。

特に無し

こども保育科では、極端にパソコンが苦手学生が多い。パソコンの初段階の教育をどのレベルに設定するか？など迷う部分がある。
また、幼児教育でのICT化などについても教えたいと考えている。これからの教育で導入されるであろう技術など触れたいと考える。

障害を抱えている学生への対応

障がいと思われる学生への対応

特になし

○専門学校同士の情報交換 交流の機会が増えればいいのかと思う

○障害を持つ学生へのケア、また障害を持っているが認知が本人、保護者ともいない学生への対応 就労サポート

○市場の変化 職業教育として、市場にあった教育をするには

○学校としての、コンプライアンス 情報セキュリティのあり方

精神的に問題を抱えた学生のケア、学力低下に対するケアが年々増加傾向にあり、対応に追われる時間が多くなった。

・zoomによるライブ授業を現在学内から配信しているが、これを自宅や事務所から配信するための方法や注意点等、学外からの配信方法に関するレクチャーを受けたい。